

県下1位の生産量！フラワーアレンジメントでも人気！
「クルクマ」出荷ピーク！

【7月20日（水）／碧南市内で収穫風景を紹介します】

J Aあいち中央碧南クルクマ部会（部会長：大岡宏充）が栽培するクルクマが、7月中旬から出荷の最盛期を迎えます。クルクマは東南アジア原産のショウガ科の植物です。1990年に大阪で開かれた「国際花と緑の博覧会」で初めて紹介されたもので、碧南市では1993年から全国に先駆けて切り花の生産を始めました。

暑さに強く、ハスの花に似ていることから、主に仏花として用いられるため、新盆、旧盆の需要に合わせて栽培しています。夏場でも日持ちが良く、明るい色の品種が多いことから、近年ではブライダルやフラワーアレンジメントでも人気です。

今年は葉や茎が伸びてくる4～5月に夜温が低かったため例年に比べ1週間ほど生育は遅くなっていますが、品質については晴れた日が多かったこともあり良好です。



収穫する生産者

碧南市で栽培している品種

当部会では、主力品種の「シャローム」を中心に苞葉が緑色の「チョコゼブラ」、白色の「モンブラン」など、14品種を栽培しており、「シャローム」が全体の約7割を占めています。

クルクマの花びらに見えるものは、苞葉（葉の一種）で、その下の小さい紫色のものが花です。



紫色の小さいクルクマの花



主力品種の「シャローム」

J Aあいち中央碧南クルクマ部会

部 会 員：8人

栽培面積：約1.1ヘクタール

出荷時期：6月上旬～10月下旬（最盛期：7月中旬～8月上旬）

総出荷量：約35万本（全品種で）

流通先：東北・関東（約8割）を中心に、甲信越・中京市場にも出荷しています。

<メディア対応日>

日時：2022年7月20日（水） 午前6：00

場所：碧南ひがし支店集合（碧南市照光町5-27）

※当日は、収穫作業（車で約5分移動）が撮影いただけます。

※天候や作業状況等により、日時・場所が変更になる場合があります。

碧南市長への表敬訪問

日時：2022年6月29日（水）／午前10時00分

場所：碧南市役所本庁舎4階応接室A（碧南市松本町28）

（お問い合わせ先）※取材にお越しいただく際には、事前にご一報ください。

J Aあいち中央総合企画部企画課（広報担当：高瀬、杉浦、山村）

TEL：0566-73-5504／携帯（高瀬）：080-3667-3853／E-mail：kouhou@jaac.or.jp